

㈱ウイングート  
代表取締役

ひがしくにのみやきねんしょう

# 高屋 博文・「東久邇宮記念賞 (大衆ノーベル賞)」を受賞

最高水準の遮熱・断熱性能を発揮するウレタン遮熱工法の開発者、㈱ウイングート・代表取締役高屋博文が、「発明の日」に発明や科学技術の振興に寄与した人に贈られる「東久邇宮記念賞」を受賞。「東久邇宮記念賞」は、終戦後に皇族で初の首相を務めた「東久邇宮稔彦王」の第一王子、盛厚殿下が、約五十年前に創設、別名、「大衆ノーベル賞」とも呼ばれ、各界から多くの偉人、賢人と言われる方々が受賞をされています。

私(高屋博文)は、工務店を経営しており、工務店設立当初より、住宅の断熱の重要さを日々感じていました。できることならエアコンをほとんど使わず、夏は涼しく、冬は暖かい家で暮らすことができれば心身ともにどんなにくつろげることかと、住環境を考える毎日でした。そのような思いが結実したのが、優れた遮熱性能、断熱性能を発揮する、まさに、「夏は涼しく」、「冬は暖かく」暮らせる家「ウレタン遮熱工法の家」が生まれました。そして、このたび、「ウレタン遮熱工法」の開発に至った功績が、当記念会より高く評価され、「東久邇宮記念賞」という名誉ある賞を授与できましたことを、たいへん光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いを感じています。又、改めまして、これを機に今後も、これから家を新築しようとお考えの方々や、住宅を提供される工務店様等多くの方々に「ウレタン遮熱工法の家」の快適さ、暮らしやすさ等を伝え、近年、省エネルギー性能が叫ばれる住宅建築分野に今までより以上、貢献して参る所存です。

平成30年4月18日

株式会社 ウイングート 代表取締役 高屋 博文



東久邇宮記念賞授与式・祝賀会の風景 2018年4月18日(発明の日)



遮熱原理・温熱環境工学から  
生まれた最先端テクノロジー  
最高水準の性能・技術

## ウレタン遮熱工法

驚異の遮熱・断熱性能を発揮!

住宅の省エネルギー化をもとに開発されたウレタン遮熱工法は、樹脂発泡層(硬質ウレタン吹付け)+アルミ熱線反射材の複合工法です。簡単に言えば、アルミ熱線反射材は、夏の熱線を反射し、硬質ウレタンは冬の保温効果及び、結露対策に優れているということになります。ウレタン遮熱工法は、この2つを複合させ、夏の暑さも、冬の寒さにも対応できるよう開発した工法です。さらに、ほぼ完璧な気密性能が期待でき、防音性能に優れ、結露がほぼ発生しないことも実証されています。又、安全性や作業性も良く、短期間での施工が可能です。